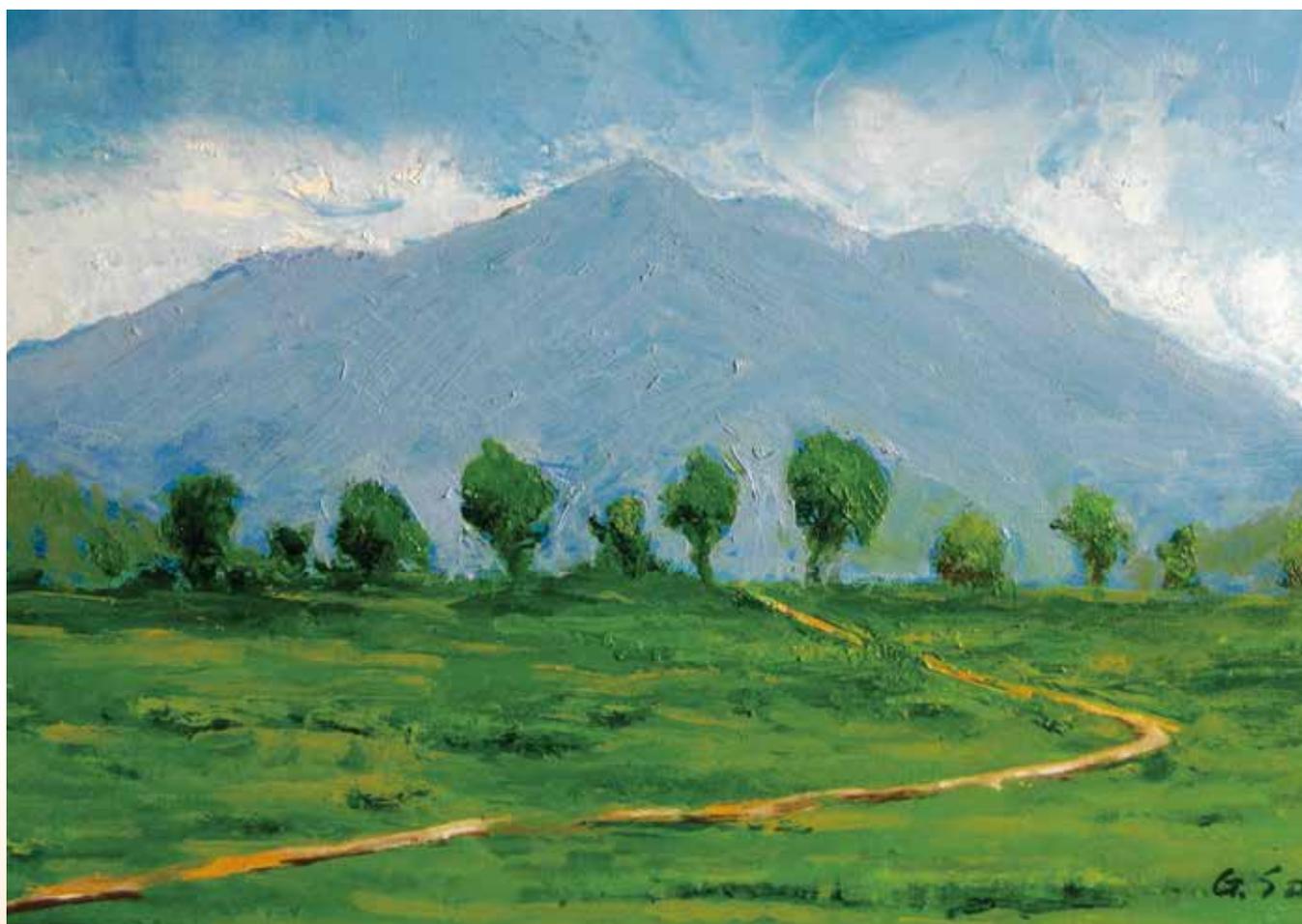


弘済会だより

KOUSAIKAI DAYORI

No.45

2025 January



持続可能で活力ある埼玉を次世代につなぐ



埼玉県知事 大野 元裕

明けましておめでとぅございます。

昨年は、埼玉県が生んだ偉人、渋沢栄一翁が描かれた新二万円札が7月に発行され、県では、「渋沢つて、埼玉らしい」のキャッチコピーの下、渋沢翁が埼玉出身であることを大いにPRしました。

また、パリ2024オリンピック・パラリンピック競技大会などの大会では、県ゆかりの選手が大活躍し、私たちも大変勇気づけられました。

県産農産物においても、いちごの「あまりん」、梨の「彩玉」など県オリジナル品種の受賞が相次ぐなど、本県に強力な追い風が吹きました。

さて、「人口減少・超少子高齢社会の到来」と「激甚化・頻発化する自然災害など、危機への対応」という時代の転換点における2つの歴史的課題に敢然と立ち向かい、これを超克するためには、目先の課題のみならず、中長期的な観点に立った施策を確実に実行し、子や孫の世代に対する責任を果たしていくことが我々の使命です。今年には緒に就いたこれらの施策を確実な軌道に乗せていきます。

人口減少・超少子高齢社会への対応として、「埼玉版スーパーシティプロジェクト」による持続可能なまちづくり、DX推進による生産性向上、サーキュラーエコノミーの推進、円滑な価格転嫁に向けた支援などを更に推し進めていきます。

また、子ども子育て当事者の意見を聴き、県のことも施策に反映させ、安心して子どもを生み育て

られる環境の整備を進めるほか、あらゆる人に居場所があり、活躍でき、安心して暮らせる社会の実現を目指していきます。

さらに、激甚化・頻発化する災害などの危機には、能登半島地震などの検証を踏まえ、入念な備えを進めるとともに、平時から「埼玉版FEMA」の推進により危機管理・災害対応力を強化してまいります。

5か年計画で本県が目指す将来像の実現に向け各取組を更に深化させるとともに、DXの第2段階としてデジタルを前提に従来の仕事のやり方を見直すTX(タスク・トランスフォーメーション)を推進し、県民サービスを向上させていきます。

今年5月には、本県で全国植樹祭が開催されます。森林・みどりを利用しながら守り育て、森林資源の循環利用を図る「活樹」に取り組みむ契機としていきます。

夏には、埼玉初のイノベーション創出拠点「渋沢MIX」を開設します。新たなイノベーションが共創される場となるよう進めてまいります。

今年の干支「巳(み)」は、実を結ぶ年とされています。今年が埼玉県にとって実り多き年となるよう、皆様と共に「ワンチーム埼玉」で県政に取り組み、活力ある埼玉を次世代につないでまいります。

新年のごあいさつ



会長 橋本 光男

新年明けましておめでとございます。

会員の皆様におかれましては、穏やかな新年をお迎えることと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、フランス、イギリス、日本、アメリカと注目を集める大きな選挙が続き、年末には、お隣の韓国から驚くべきニュースも飛びこんできました。ドイツでも近々総選挙が行われるとのこと。各国で大きな変化が生じつつあります。また、ウクライナ及びパレスチナの紛争の先行きは依然として不透明なままです。

我々の生活に関しましては、新型コロナウイルス等の感染予防には十分に注意を払う必要がありますものの、いろいろな場面での様々な制約が少なくなり、それぞれの日常を楽しめるようになりました。

このような中で、会員の皆様には道路や河川、公園の美化活動、休耕地を活用したニンニク栽培及び収益金の共同募金会への寄附、赤い羽根共同募金への協力など、地域に根ざした地域支援活動を実施していただきました。また、親睦事業もゴルフや鑑賞会、講習会、そして総会の終了後に5年ぶりに懇親会を開催したほか、会員間交流地域巡り事業も実施できたところです。

さて、私ども埼玉県弘済会は、埼玉県知事の推薦を受けて昭和63年度から宅建試験の指定試験機関である(二財)不動産適正取引推進機構から協力機関として試験業務を受託して参りました。以来、令和6年度まで37年間にわたって宅建試験の適正な実施に協力して参りました。しかし、県の「宅建試験協力機関として、弘済会が担当するのは令和6年度までとする。」という

判断に従い、「協力機関の受託は、令和6年度までとする。令和7年度以降においても、これまでの実績や経験を活かし宅建試験の実施に協力していく。」ことが理事会において決定されました。

20,604人の方に受験申込をいただいて昨年10月20日に実施された試験は、協力機関としての最後の試験となりましたが、県内15か所の会場で無事に試験を終了することができ、その責務を全うすることができました。これまで延べ39回の試験実施に大変、尽力をいただきました会員の皆様には、ここで改めて厚く御礼を申し上げます。

今後は、令和7年度からの協力機関に予定されている「埼玉県宅地建物取引業協会」との間で、引継ぎを遺漏無く実施いたしますと共に、「私たち弘済会に再委託される業務」等について協議・調整を進めて参ります。弘済会の運営にも非常に大きな影響がございますので、今後も会員の皆様のご意見をお伺いしながら、しっかりと対処して参ります。

今年是全国植樹祭が66年ぶり2回目として、5月25日に埼玉県内で開催されます。当「弘済会だより」にも県担当部局からご寄稿をいただいております。埼玉県全体で開催気運を盛り上げていくために県内各地で様々なイベントも計画されているようです。私達も生活の身近な場面から、その一助となるように、できうる限り協力し、また楽しんでいくではありませんか。

それでは、会員の皆様、ご家族の皆様のご健勝をご祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。

弘済会ニュース

会員数 1,054人(12月12日現在)

News

1

令和6年度通常総会が

開催されました

令和6年5月30日(木)、通常総会が開催されました。御公務で多忙な中、大野元裕埼玉県知事にも御臨席頂きました。新型コロナウイルス感染症の感染症法の分類が5類に引き下げられて1年が経過しましたので、感染予防にも留意しつつ、5年ぶりに総会後の懇談会を開催しました。総会では令和5年度の事業報告及び収支決算議案が審議され、原案のとおり決定されました。



News

2

令和6年度宅地建物取引士

資格試験が無事終了

令和6年度宅地建物取引士資格試験は弘済会が実施するようになってから37回目を迎えました。今年度は、弘済会が協力機関として試験を取り仕切る最後の年となりましたが、多くの会員の御協力をいただき、試験を無事に終了することができました。

本県の受験申込者数は20,604人で前年度より855人増加(4.3%増)しました。全国の申込者数は301,336人で、前年度より12,240人増加(4.2%増)しました。10月20日の試験は、県内15の試験会場で16,599人が試験に臨みました。15の試験会場のうち、6会場を埼玉県宅地建物取引業協会、1会場を全日本不動産協会埼玉県本部、2会場を全国試験運営センターに再委託しました。受験率は80.4%(全国平均80.1%)でした。合格者は11月26日に不動産適正取引推進機構のホームページで発表され、3,065人が合格し、合格率は18.5%(全国平均18.6%)でした。

%)でした。

来年度の試験は、令和7年10月19日(日)に実施される予定です。次回試験からは、次期試験協力機関に予定されている埼玉県宅建業協会から再委託を受けて試験に臨む形となりますが、引き続き御協力をお願いいたします。

News

3

「第23回埼玉県弘済会会員文化

創作展」が開催されました

第23回埼玉県弘済会会員文化創作展が、令和6年1月10日(水)から16日(火)に、埼玉会館第1展示室で開催されました。

書、絵画、写真や手芸など幅広い分野から37人の力作99点の作品が展示されました。鑑賞に訪れた方は延べ453人で、皆さんゆつくりと鑑賞されていました。

なお、第24回埼



玉県弘済会会員文化創作展は、令和7年2月20日(木)から26日(水)まで、埼玉会館第1展示室(地下2階)で開催されます。

News 4

結婚相談の状況

県職員互助会、弘済会、埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫で構成する埼玉県結婚相談所(浅賀康夫所長・弘済会副会長)は、平成29年2月18日に開設され7年10か月が経過し、引き続き、弘済会会員が熱心に婚活支援におこっかいをやっています。

登録者数は昨年12月7日現在で207人となっております(内訳は男性82人、女性125人)。所属団体別では、互助会96人、弘済会53人、埼玉りそな銀行29人、武蔵野銀行14人、埼玉縣信用金庫15人です。弘済会には相談員紹介37人が含まれています。これまでのお見合い件数は533組となり、このうち交際中は9組となっています。

成婚に至ったのは12組。男性は、

県職員7人、弘済会関係者4人、互助会1人で、20代1人、30代6人、40代4人、50代1人です。女性は、県職員1人、弘済会関係者6人、互助会2人、埼玉りそな銀行2人、武蔵野銀行1人で、20代1人、30代8人、40代3人となっています。

毎週土曜日の午後、結婚相談を行っていますので、お気軽に御相談下さい。
県職員等結婚相談所…
電話 048(830)7450

News 5

「赤い羽根共同募金」活動に協力

社会福祉法人埼玉県共同募金会からの要請を受け、例年10月に行われる街頭募金ですが、今年度は10月1日(火)に行われました。

県内の10か所の駅頭で74人の会員が募金活動に奉仕しました。御協力いただいた会員の皆さんには深く感謝申し上げます。

News 6

年金等の相談事業を実施

弘済会では、社会保険労務士の一般相談員が会員や御家族からの年金や相続などの相談(電話又は面談)に応じています。令和5年度には、26件の相談がありました。一般相談員は、北足立支部の浅見誠二氏です。お気軽に御相談ください。

定例の相談日は、毎月第1・第3の水曜日(午前10時～正午、午後1時～4時)となっています。相談を希望される方は、随時事務局に御連絡ください。日程の調整を行います。
事務局連絡先…
電話 048(822)7926

News 7

第13回会員間交流地域巡り

事業を開催

新型コロナウイルス感染症の影響で中止されていましたが、令和6年3月22日(金)に4年ぶりに開催し

ました。北本自然観察公園を会場に30人の会員が参加し、森林セラピーガイドの案内で森林の持つリラックス効果を楽しみました。



お知らせ

《第14回会員間交流地域巡り事業を開催します》

- 開催期日 令和7年2月26日(水)
 - 開催方法 大型観光バスを使用
して北埼玉地域の施設を巡ります。
 - 見学場所
 - ①行田市郷土博物館
 - ②環境科学国際センター
 - ③古代蓮の里
 - ④利根大堰
- ※詳細は、本誌同封の御案内を御覧ください。
なお、女性交流事業は中止になりました。

今年5月25日(日)に

埼玉県で全国植樹祭を開催します!



第75回

全国植樹祭

埼玉
2025

人・森・川 つなげ未来へ 彩の国

「全国植樹祭」は、豊かな国土の基盤である森林・みどりに対する国民的理解を深めるために開催される、国土緑化運動の中心的行事です。昭和25年に山梨県で開催されて以降、各県持ち回りで、天皇皇后両陛下の御臨席を仰ぎ、県内外から多数の招待者を得て、毎年春に開催されています。

このたび、「第75回全国植樹祭」を、66年ぶりに2回目として、今年5月25日(日)に埼玉県で開催します。全国植樹祭の式典会場及び植樹会場は、秩父市と小鹿野町にまたがり、秩父地域の豊かな自然に恵まれた「秩父ミュージックパーク」です。

天皇皇后両陛下により苗木を植えていただく「お手植え」と、種をまいていただく「お手まき」や、県内外からの招待者による記念植樹を行います。また、大会テーマを表現するアトラクションの披露や、国土緑化活動に関する功労者への表彰などを行います。

なお、当日は、所沢市、深谷市、久喜市にサテライト会場を設置して式典等の模様をライブ中継します。

記念式典の様子



天皇陛下お手植え



第73回全国植樹祭岩手県実行委員会提供

第10回大会の模様 (前回埼玉県開催)

昭和34年4月5日、かなおやま金尾山(寄居町)において、第10回大会を開催しました。

この大会では、昭和天皇・こうしゆん香淳皇后両陛下がヒノキの苗木をお手植えになるとともに、旧埼玉県林業試験場(寄居町)に移動し、昭和天皇はスギの種子を、香淳皇后はヒノキの種子をお手まきになりました。

当日は約7千人の参加者により、ヒノキの苗木、約1万5千本が3.8ヘクタールの敷地に植樹されました。



秩父ミュージックパーク
スカイロード



第75回全国植樹祭について

開催理念

- 適切な森林の整備と森林資源の循環利用を推進し、森林の持つ多面的機能を持続的に発揮することで、森林・水・木材と私たちの暮らしや産業との結び付きを深め大切にしていきます。
- 豊かな川で繋がる山村と都市が、協力して森林・みどり共有の財産として守り育て、元気な姿で未来の子供たちへ繋いでいきます。

森林は「伐って・使って、植えて、育てる」ことが大事だトントン



大会シンボルマーク



大会テーマ

人・森・川 つなげ未来へ さい彩の国

埼玉県内全体で全国植樹祭を盛り上げていくトン!



式典会場・植樹会場及びサテライト会場

式典会場・植樹会場

式典会場では、天皇后両陛下によるお手植え、お手播きを中心とする記念式典を行います。植樹会場では、県内外からの招待者による記念植樹を行います。

サテライト会場

式典会場にお越しいただけない方々にも全国植樹祭に御参加いただけるよう県内3か所にサテライト会場を設置します。当日は式典の様様をライブ中継するほか、ライブステージ、各種PR展示を行います。



サテライト会場
深谷テラスパーク
(ふかや花園プレミアム・アウトレット隣)

サテライト会場
モラージュ葛蒲



式典会場・植樹会場
秩父ミュージアムパーク



▲式典会場イメージ



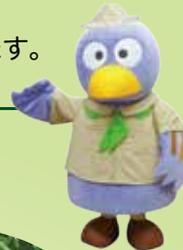
▲植樹会場

サテライト会場
エミテラス所沢



お手植え・お手播き樹種について

式典行事内で、天皇皇后両陛下が埼玉県ならではの樹種をお手植え、お手播きされます。



お手植え樹種

天皇陛下 3種



ケヤキ

県内に古くから自生し屋敷林やしきりんや学校、社寺などに植えられており、昭和41年に「県の木」に指定され県民に広く親しまれています。



スギ(少花粉)

県内の人工林の6割以上を占め、次世代においても本県の林業を担う主要な樹種です。前回の埼玉大会で昭和天皇がお手播きされました。



トチノキ

実や葉は古くから本県の食文化に深い関わりがあり、秩父地域では栃の実を使った「栃もち」や餅米などを栃の葉で包んで煮る「つとっこ」などの伝統食が残されています。

皇后陛下 3種



ヒノキ(少花粉)

スギに次いで県内の人工林の多くを占め、スギと並び次世代においても本県の林業を担う主要な樹種です。前回の埼玉大会で昭和天皇・香淳皇后両陛下がお手植えされ、香淳皇后がお手播きされました。



コナラ

武蔵野の面影を残す平地林や里山へいちりんを構成する代表的な樹種です。三富きんどの地域の平地林では、江戸時代から落ち葉を使った循環型農業が営まれ、「武蔵野の落ち葉堆肥農法」は世界農業遺産にも認定されました。



ヤマザクラ

サクラは日本人に深く愛されており、県内でも様々な種類の樹木が大切に守り育てられています。ヤマザクラは野生サクラの代表的な樹種で、山地や里山に自生し県民に広く親しまれています。

お手播き樹種

天皇陛下 2種

アカシデはコナラと並び本県の里山・平地林を構成する主要な樹種で、盆栽ぼんさいや庭木としても利用されています。



アカシデ

ヒノキ(少花粉)

皇后陛下 2種

本県は全国的にもカエデの種類が豊富であることから、カエデの樹液を利用した菓子作りや清涼飲料の開発など、新たな森林資源の活用に取り組んでいます。



イタヤカエデ

スギ(少花粉)

機運醸成の取組について



第75回全国植樹祭を成功させるためには、全国から招待者の皆様をお迎えする万全の体制を整えることはもちろん、埼玉県全体で開催機運を盛り上げていくことが重要です。

埼玉県では、県内各地で様々なイベントを実施するなど、全県での機運醸成に取り組んでいます。

どこでも植樹祭

県内各地で行われているイベントに合わせて、全国植樹祭のPR活動をする「どこでも植樹祭」を行っています。

会場の規模やイベントの内容に応じて、ワークショップ、パネル展示、オリジナルグッズ・苗木の配布など様々な取組を行っています。



ブース出展



ワークショップ

苗木のスクールステイ

全国植樹祭や関連イベントで使用する苗木の一部を保育所、幼稚園など、延べ203団体の皆さんに育てていただいています。

この取組では、森林環境学習を実施して森林づくりの大切さを子どもたちにお伝えし、苗木の育成を通じて全国植樹祭の開催に向けた機運を盛り上げています。



ドングリの種まき



これから育てる苗木と一緒に集合写真

「木製地球儀」巡回展示

令和6年5月26日に岡山県で開催した「第74回全国植樹祭」で、大野知事が岡山県の伊原木知事から全国植樹祭のシンボル「木製地球儀」を引き継ぎました。

県全体で全国植樹祭の開催機運を醸成するため、木製地球儀を県内全市町村で巡回展示しています。

展示期間

令和6年6月17日(月)から
令和7年3月27日(木)まで

展示場所

県内63市町村の庁舎
ロビーやホール等



木製地球儀引渡し式



巡回展示

木製地球儀

「木製地球儀」は、21世紀最初の全国植樹祭が開催された第52回山梨県大会の際に、植樹祭のシンボルとして製作されました。

森林・林業がさらに重要な役割を担うことをイメージした「木製の地球」で、「国民」「企業」「行政」が一丸となって3者の手で支えていく姿を「3枚の葉」で表現し、地球はヒノキ、葉はナラ、基台はケヤキで作られています。



200日前記念イベント

開催200日前の時期を迎えるに当たり、大会の周知や開催機運の醸成を図るため、埼玉県民の日である11月14日に開催する「県庁オープンデー」に合わせて、記念イベントを開催しました。

開催日 令和6年11月14日(木)

場所 埼玉県庁

主な内容

①ステージイベント

記念植樹、カウントダウンボードお披露目式 ほか

②ブース出展

全国植樹祭PR活動「どこでも植樹祭」、

開催地域によるPR ほか



カウントダウンボードお披露目式



ブースでの苗木配布

第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会では、大会の成功に向け着実に準備を進めるとともに、より多くの県民の皆様に関心を持っていただけるように機運醸成の取組を加速させてまいります。今後とも、皆様の御支援・御協力をよろしくお願いいたします。

第75回全国植樹祭埼玉県実行委員会事務局(埼玉県 農林部 全国植樹祭推進課)

〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1

電話 048-830-4306

埼玉県 第75回全国植樹祭

公式HP <https://www.pref.saitama.lg.jp/shokujusai/index.html>



公式ホームページ



公式 X
@syokujusai_2025



公式Instagram
@syokujusai_2025

うちの支部自慢

支部 だより

北足立支部

新規会員の増加

当支部では、令和6年4月以降新たに5人(11月末現在)の会員をお迎えすることができました。会員相互の交流、懇親の場づくりを中心に活動しています。

班再編成及び支部事業 活性化策検討委員会の開催

昨年度に引き続き、班活動の在り方や事業活性化策を検討してまいります。班編成については、班員が減少している班との合併や合流等、各班の意向を踏まえた調整を行っていくこととしています。また、活性化策では新たに試行事業を立ち

上げるなど意欲的な取り組みも進めていきます。

会員の趣味活動を応援します (試行事業)

会員5人以上(元県職員含む。)が、主要メンバーとなり、月1回程度、定期的に自主活動(囲碁、将棋、短歌、俳句、絵画、各種スポーツ、華道、茶道など)を行うグループに助成する取り組みです。運営経費の50%、1万円を限度に補助します。

地域支援活動の実施

ロードサポートを始めて

18年目になりました

吹上班 柴田 雅幸

去る10月5日(土)、前夜の遅くまで降っていた雨が上がり、吹上班から6人、それに北足立支部役員の萩原孝司さんが参加しました。



かつては、10人を超える人数で行っていたボランティア活動です。一抹の寂しさを禁じえません。

参加者は高齢、また体の変調で参加が1人減り、また1人減ってきました。社会貢献活動を支える団体の現状はどこも

同じようだと聞きます。

吹上班では毎年5回(うち10月の回は北足立支部と共催)、道路美化活動をしています。今後とも班の仲間とともにできる限り活動を続けていきたいと考えています。

第12回 川の国応援団

鴨川左岸河川美化活動の実施

さくら班 権田 富久

去る10月24日(木)午前10時から12時過ぎまで、桜区役所西側、鴨川左岸、「中土手橋」諏訪前橋間、約90メートルの間の河川美化活動を実施しました。



さくら班の「河川美化活動」は、平成25年に埼玉県とさいたま市で協定を結び、「川の国応援団、鴨川河川美化活動団体」として登録され、現在に至っております。

当日は、爽やかな秋空の下、好天に恵まれ、今回もさいたま県土整備事務所の協力の下、「さくら班」会員6人と支部役員4人の協力を得て合計10人で河川美化活動を実施しました。

当時は、鴨川沿いの散策コースとしても利用者が多く、今回も当日のスケジュールを説明した後、早速散乱してい

る空き缶、ペットボトル、家庭ゴミなどの収集活動を行うとともに、河川に飛来してくる名前もよくわからない多くの小鳥たちを眺めながら、久しぶりの会員との談笑に花が咲き、有意義なひと時を過ごすことが出来ました。

会員の皆様には、ご多用の折にも関わらず、早朝からご参加をいただきありがとうございました。

終了後、区役所のロビーで休憩し、次年度に向けての反省点等を話し合い、12時過ぎに解散となりました。

北本自然観察公園で

ボランティア活動の実施

北本班(北本子桜会) 高岡 輝夫

去る11月8日(金)午前9時30分から、北本自然観察公園(埼玉県自然学習センター)で、本年度第2回目の環境美化ボランティア活動を行いました。参加者は9人でした。



自然観察公園では昨年度に続いて、重機を入れてナラ枯れ被害木の伐採や剪定が行われていました。私たちは、作業の前に自然観察公園の指導員から、作業内容や手順、安全等について丁寧な説明を受

けて作業に臨みました。お昼前には作業を終えて、学習センターへ戻り、久しぶりの顔合せの機会なので、野外での美化活動の疲れを忘れて班の活動状況など情報交換を行いました。みんなで一緒に昼食をとって、本日のボランティア活動を閉じました。

今回も支部の役員や個人で参加を戴きました皆さんへ心からお礼申し上げます。

支部活性化対策事業(第2弾) 史跡巡り(徒歩)事業の開催

第1弾は、令和6年2月9日(金)、喜多院など川越史跡巡り(徒歩)を行いました。参加した18人は、昼食を挟み足取り軽やかに心身をリフレッシュ。

第2弾は、11月12日(火)、秋晴れのもと27人が参加し、渋沢栄一ゆかりの飛鳥山公園(渋沢資料館ほか)、六義園、巢鴨地藏通り商店街(昼食)など、全行程徒歩約6キロの史跡巡りを実施しました。



令和6年度通常総会の開催

5月13日(月)午前10時から、さいたま共済会館で、支部会員35人が出席し開催されました。総会終了後は、リンパ体操で体を動かし、和気あいあいの中で懇親を深めました。

赤い羽根共同募金奉仕活動

去る10月1日(火)午前8時から、「浦和駅東口パルコ前」において開催され、支部から7人の役員が参加しました。

当日は、秋晴れの天候に恵まれ、駅前広場は通勤・通学の皆さんで大変混雑しておりました。

また、会場には各団体の皆さんや地元の高校生など多くの協力者が集結し、募金活動に熱心に取り組んでおりました。



施設見学会(バス利用)の開催

コロナで休止していた施設見学会を、令和7年2月6日(木)、渋沢栄一記念館(深谷市)・キューピー五霞工場等を感染防止の万全を図りながら開催します。

班活動座談会の開催

令和7年2月21日(金)午前10時から、「当面する班活動の問題点・課題」等について協議します。

顧問・相談役・監事会議の開催

令和7年2月25日(火)午前10時から、「地域支援事業の継続実施に向けての応援体勢の強化」等について協議します。

会報「かわら版」の発行

令和6年は、2月の第237号から第240号まで発行し、次号第241号は令和7年2月に発行します。

入間支部

そば打ち教室

令和5年12月13日(水)と令和6年1月16日(火)に川越市農業ふれあいセンターで「そば打ち教室」を開催しました。1回目は9人、2回目は7人の方が加いただきました。そのうち2人の方が

初参加で、そば打ち名人2人から濃密な指導を受けることができ、充実した体験ができたこと好評でした。

常連の皆さんは手慣れたところですが、苦労していたのが「切り」です。田舎風の歯ごたえのありそうなものから、きめ細かく白糸風のものまで、個性が出ていました。試食するときにはどれだけの個性が出るか楽しみなものです。

同じ粉と同じ水を使っているのに、食感のご越しは、まちまちです。理屈はともかく自分で打ったそばは実に「うまい」ものです。



入間ゴルフ愛好会の活動について

入間支部では、ゴルフを嗜む会員の方々が「入間ゴルフ愛好会」に参集し、汗を流しています。

■支部だより

愛好会ではコンペと練習会をセットで年4回開催しています。

コンペは吉見ゴルフ場で、今年度は4月、6月、9月、11月に予定していましたが、4月は雨で中止になりました。参加する目的は、腕前の維持・向上、健康増進、人との交流など、ひとそれぞれだと思いますが、毎回3〜4組程度で和気あいあいと元気に楽しんでいます。

練習会は、コンペの前の週に毛呂山町のリンクスゴルフクラブを会場にして、レッスンプロの資格を持つ会員の方に様々なアドバイスを頂いています。

このゴルフ会は「愛好会」と称していますが、気軽にその都度スポットでの参加も大歓迎です。また、人間支部以外の弘済会の会員の方、弘済会に加入していない方の参加もウェルカムです。

愛好会では、幹事の独断ではありませんが、「後期高齢者は85歳から」をモットーに「ゴルフを楽しんでいきたい」と思っています。

参加してみたい方、興味のある方は、ご連絡をお願いします。(幹事・粟生田邦夫)

美しい森づくりに

坂戸市城山地区での美しい森づくりの令和6年度の活動は、県川越農林振興センター林業部のご協力をいただき、6月

19日、職員の方と現地確認を行い、第1回目(6月)は、下草刈りと直径7センチ以下の雑木の除去、第2回目(11月)に、同じく下草刈りと7センチ以上の雑木の除去、第3回目(2月)に間伐を行うことになりました。

その第1回目とし、6月29日、坂戸市環境政策課職員、同市ボランティア団体の方を含む総勢16人により、10時から12時まで、刈払機3台及び手鎌により実施しました。

特に注意したのは、作業者間の距離を十分にとっていたこと、水分補給を小まめにとつていただくようお願いし、無事終了することができました。



古典芸能鑑賞「落語を楽しむ会」

令和6年8月20日(火)、恒例の古典芸能鑑賞「落語を楽しむ会」を、東京の「内

幸町ホール」にて、参加者16人(3夫婦含む)のもとに開催いたしました。今年度は夏の暑い盛りの開催にもかかわらず、多くの会員にご参加いただきありがとうございます。

なお、国立演芸場は建替えのため閉場になりましたが、他の施設を借上げて国立演芸場主催公演が行われているものです。

番組及び出演者は、順に落語の三遊亭ふう丈、奇術の伊藤夢葉、落語の古今亭志ん五、春風亭百栄、古今亭駒治、鈴々舎馬るこ、音楽、フォーマンズのだゆき、ト리는落語の柳屋小ゑんで、今年もバラエティーに富んだ多彩な芸を見せてもらい、楽しい時間を過ごさせていただきました。

最後に、今年度は能登半島地震をはじめ各地で災害が多発し激変する中、穏やかに暮らせるありがたさを感じ、復興を願ってやみません。

街頭募金活動について

10月1日(火)に川越駅と飯能駅において、赤い羽根共同募金活動を行いました。

川越駅では、東口において、9時30分から10時30分まで川越・坂戸地区会員6人

及び川越市長の参加により実施いたしました。平日の通勤時間帯を過ぎた事もあり、人出は少ない状況ではありましたが、募金の協力者はいつもより多く感謝しております。

飯能駅では、北口と南口の2か所に分かれて、10時から11時過ぎまで会員5人と埼玉県共同募金会飯能市支会4人の方と共に実施いたしました。多くの皆様から募金をいただきまして大変感謝しております。



なお、人間支部における長年の共同募金活動に対して、10月31日(木)に埼玉会館で行われた、埼玉県社会福祉大会において表彰されました。

宅地建物取引士資格試験などの実施について

宅建試験については、1会場で比企支部と一緒に実施して滞りなく終了しました。

この他、ふるさと再発見、音楽鑑賞、テーマを毎年決めてのセミナーの開催などで会員相互の交流を行っています。

比企支部

施設見学(生涯学習事業)

令和5年11月21日、東京渋谷へ生涯学習事業として施設見学を実施しました。参加者は10人でした。

令和3年夏に東京で開催されたオリンピック・パラリンピックの記録・記憶をとどめる為日本オリンピック委員会が建設した「日本オリンピックミュージアム」を見学しました。

この施設は、アスリートや来館者とともに創り上げるオリンピックムーブメントの発信拠点として設置され、展示や映像を通じてオリンピックの歴史や意義を知り、来館者自ら考え体験し学ぶことができます。1階のウエルカムエリアでは、オリンピックに関する教育や研究について知ることができ、2階エリアでは、選手の身体能力やその動きを体験することができ

ます。

さらに、日本や世界のオリンピック・パラリンピックの歴史をシアターやオムニバスストーリー展示で学びました。東京開催から2年経過、またパリオリンピックまで1年と時期的には関心が薄れている時期でしたが、海外からの若い観光客が多く見られ、会員にとつてスポーツや国際感覚を学ぶ、まさに生涯学習の貴重な機会となりました。



セミナー事業(親睦事業)

令和6年1月25日、セミナー及び情報交換会を吉見町において「近代日本の礎を築いた渋沢栄一」をテーマに開催しまし

た。参加者は14人でした。

講師には、元埼玉県職員で作家の今井博昭先生をお招きしました。

渋沢栄一は大河ドラマの主人公となり、令和6年7月に発行された新1万円札の肖像に採用されるなど郷土埼玉の歴史的人物ですが、今井先生はその生涯や功績を長年研究され多くの著書を執筆されております。



最初に天保11年(1840年)に深谷で誕生してから波乱の青年期について人生の節目となった「倒幕計画の挫折」「平岡四郎との出会い」そして「パリ万博」について解説されました。

それらの貴重な経験をした栄一が目指したのは次の3点です。

「日本を豊かな国にする」「先進国の経済システムを取り入れる」「対等な市民社会を実現する」

そうした栄一の理念をまさに実行に移したことが現在、多大な功績として賞されているとのこと。

銀行、製紙、郵便、鉄道、ガス、保険、倉

庫など500以上の会社設立にかかわり、また養育、医療、大学、赤十字、理学科学研究など多くの社会公共事業の設立にかかわりました。

さらには民間外交の先駆者としてアメリカ合衆国大統領(ルーズベルト、タフト、ウイルソン、ハーディング)と会見するなど、民間経済交流を行い、国際友好親善に寄与しました。先生の熱心なお話大変ためになりました。

道路清掃活動(地域支援事業)

第1回を6

月27日参加者

11人、第2回

目を11月7日

(参加者10人)、

東武東上線高

坂駅西口から

県立こども動

物自然公園ま

での2km道路

(県道含む)の

清掃活動を実

施しました。こ

の事業は比企

支部全会員に

呼びかけ、令和

元年から春と



■支部だより

秋の年2回継続的に行っています。

東松山県土整備事務所の協力をいただき、トングやゴミ袋をお借りして2組に分かれて歩道のゴミ・空き缶を拾い集めます。6月は沿道の植え込みに雑草が多く茂り、また11月は落ち葉が堆積しています。すべて片づけるのは大変ですが、たばこの吸い殻や菓子の空き袋、ペットボトルなど参加会員が熱心に拾い集めました。

道路清掃活動を通じ、地元の環境を整備し、県立こども動物自然公園を訪れる人々を歓迎し地域に少しでも貢献できればと思っています。



赤い羽根共同募金活動
(地域支援事業)

10月1日、東武東上線東松山駅頭にて会員9人が参加して赤い羽根募金活動を行いました。朝9時から2時間の活動でした。東松山市社会福祉協議会と連携し、たすき、募金箱等をお借りして、駅を利用する市民に声掛けを行い募金に協力をお願いしました。

今年、火曜日の午前中、通勤通学の時間帯を過ぎ人出はまばらでした。それでも、残暑厳しかった9月から10月に日付けが変わり急に秋めいた中で季節感ある募金の声掛けに、快く応じてくださった方々からは、「もうこの時期なのですね、月日のたつのがよけい早く感じます」との言葉をいただきました。また「今年

は災害が多かった。助け合いが大切ですね。」とハイキングに行くという女性からの言葉もいただきました。

秩父支部

地域支援事業

秩父支部では、4年前に始めたニンニク作りを、今年も会員所有の農地で実施しました。

寒冷地系ニンニクホワイト6片を11月に植え付け、6月に収穫しました。



今年の生育はどうか？

ニンニク作りは、相互の親睦の場となるため、作業半分、おしゃべり半分で、和気あいな雰囲気の中で楽しく作業を進めています。

こんな感じで作ったニンニクですが、今年も、直売所に出荷した黒ニンニクは「フルーツのようでおいしい」(30代女性)



おしゃべりにも花が咲きます

「ニンニク臭が余りなくていい」(60代女性)などと好評でした。



直売所に並びました

研究熱心な会員は、植え付け時期、深さ等まだまだ研究の余地があると、今年も収穫増を目指して、ニンニク作りに励んでいこうと話合っています。この向上心があれば安泰です。

なお、ニンニクの売上金は、例年通り日本赤十字社に寄付することとしています。

生涯学習事業

令和6年6月26日、支部総会に先立ち群馬県上野村にある東京電力リニューアブルパワー(株)の神流川発電所の見学会を開催しました。

当日は12人が参加し、10時に秩父地方庁舎を出発、国道299号の志賀坂トンネルを通過して途中、神流町の国道脇にそびえ立つ岩肌「瀨林の漣痕」にある「恐竜の足跡」を見学しました。

その後、道の駅「上野」にて名物の「十国味噌モツ煮定食」や「猪豚井」の屋食に舌鼓を打ちました。

午後1時に集合場所の村産業情報センターで見学バスに乗り換え社員の案内をいただきながら現地に向かいました。

30分ほど山道を上ると地下発電所の入口に到着です。ここからトンネルに入り斜度9%の直線の下り坂をしばらく進むと、御巢鷹山の地下500mにある神流川発電所に着きました。そこは高さ51m、幅33m、奥行き216mの巨大空間でした。外は30度を超す蒸



どこに足跡があるの？



地下500mとは思えません

し暑さでしたが、中は20度と快適な気温に保たれておりました。

この発電所は長野県にある上部ダム（南相木ダム）と群馬県にある下部ダム（上野ダム）を管路で結び落差653mを利用し揚水発電を行うものです。昼間の電気需要の多いときは発電し、需要の少ない夜間には水車を逆回転し、下部ダムから水を汲み上げ、再び昼間発電するという水資源を有効利用するものです。すごいことを考えたと感じしました。現在は1、2号機が運転開始しており出力は94万kwとのこと。

今後さらに3から6号機が完成すると世界最大級の揚水式発電所になるとのことです。
当日はメンテナンス作業で多くの作業員がおりましたが、普段の運転時は無人で、さいたま市内の指令室からリモートで操作しているとのこと。これにも驚かされました。

現地で1時間ほど見学し、集合場所に戻り解散となりました。驚くことばかりで、大変有意義な見学でした。

皆さんも、まだの方は、度見学することをお勧め致します。団体でも個人でも可能です。

また、道の駅「上野」で名物の「十国味噌」をお土産に帰路につきました。



有意義な見学会でした

赤い羽根共同募金活動

令和6年

10月1日、12人が参加し西武秩父駅頭に立ち、朝の7時から8時まで赤い羽根共同募金活動を行いました。通勤・通学の皆様から多くの賛同をいただきました。



早朝からお疲れさまでした



【ありがとうございます】

親睦旅行

令和6年11月22日、13人が参加し宅建試験の反省会を兼ねた歌舞伎座での観劇会を開催しました。

当日は、8時24分の西武秩父駅発の特急と東京メトロを乗り継いで東銀座に着きました。

11月公演は舞台機構設備の工実施のため、いつもとは趣を変え「ようこそ歌舞伎座へ」と銘打ったものでした。

まず、映像を使った松本幸四郎による歌舞伎の魅力や歌舞伎座裏側などの紹介、ひき続き中村虎之助による「歌舞伎あれこれ」中で「見得の切り方」の稽古をつけてもらいました。一度はやってみましたが、私どもにはこの場面はまず無いでしょう。

昼食は、注文しておいた豪華な幕の内弁当をいただきました。芝居の幕間にいただくのがこの弁当の語源だそうです。

次の演目は、「三人吉三巴白波」大川端庚申塚の場は安政七年の初演から続く屈指の人気場面とのこと。七五調の台詞は流れるようでした。

最後は、「石橋」で唄や三味線、笛や鼓などに併せた4匹の獅子の精による勇壮な毛振りは大迫力でした。

江戸時代にタイムスリップしたような貴重な体験の一日でした。

児玉支部

令和6年度支部通常総会及び役員会の開催

令和6年度児玉支部総会が令和6年5月22日（水）上里町内の（有）小菊で行われました。出席者は14人でした。議題は令和5年度事業報告及び収支決算、令和6年度事業計画案及び予算案並びに令和6年度宅建試験についてで、原案のとおり承認、可決されました。

次に令和6年7月26日（金）に支部役員会が総会と同じ会場で行われ、出席者は11人でした。議題は令和6年度宅建試験の予定、喜寿・米寿該当者表敬訪問、赤い羽根街頭募金、そば打ち体験教室、宅建試験反省会兼研修旅行などについて審議しました。各会議ともマスクを着用しつつも、ほぼ新型コロナウイルス感染症拡大以前の形で行いました。

「ホタルの里」の清掃ボランティア活動について

平成25年に始めたボランティア活動も12年目となりました。今年の活動人数

■支部だより

は12人でした。作業は例年通り上里町の「みちくさの道」(御陣場川廃川敷)の除草で5月から9月までの第2日曜日早朝に行いました。

今年も猛

暑日続きで作業は大変でしたが、ホタルの発生は順調でした。このホタルの里は個人で自由に観察できるほか、6月に公民館主催の小学生対象の親子ホタル教室が、7月にはホタルの放虫会及び観賞会が実施されるなど自然学習の場として利用されています。今年の観賞会は7月13日でした。



赤い羽根共同募金活動の実施

今年も例年のとおり10月1日(火)に午前7時からJR本庄駅前まで赤い羽根共同募金活動を行いました。



参加者は10人で、南口と北口に分かれて通行の妨げにならない場所で活動しました。

第9回そば打ち体験教室

令和6年10月29日(火)上里町七本木公民館でそば打ち体験教室を行いました。参加者は12人でした。支部の活性化事業として始められ、9回目となりました。麺打ちの道具や蕎麦粉などを持ちこみ、講師は会員のボランテ



ィアにお願しいし、美味しいそばを沢山いただきました。

研修旅行

令和5年11月28日(火)から29日(水)の日程で研修旅行を実施しました。行先は富山県宇奈月温泉で、ヒスイ海岸、北斎館などに立ち寄りしました。参加者は16人でした。どんよりとした空模様で北陸らしい冬景色の中、バス旅行を楽しみました。



大里支部

昨年の7月に20年ぶりに日本銀行券が刷新され、渋沢栄一翁(深谷市血洗島で生誕)が描かれた二万円札が発券されました。

また、5月24日(金)には、支部総会が通常どおり行われ、さらに、ボランテァ事業部の特別養護老人施設「彩華園」で

の包布交換活動も再開されました。やっと通常に戻ったとはいえ、コロナ感染状況は、いまだに終息していない。

大里支部の会員は、昨年200人を若干下回りましたが、支部事業としての、地域支援事業や親睦事業及び施設見学会には、多くの会員の方々が参加され、元気に活躍しています。

以下、各事業を紹介します。

大里支部の活動報告 令和6年度支部総会及び講演会

1. 令和6年度通常総会

開催日 令和6年5月24日(金)

場所 熊谷文化創造館(さくらめいと)

月のホール

概要

埼玉県弘済会会長橋本光男様及び埼玉県北部地域振興センター所長古平涉様に臨席いただき、大里支部会員86人の出席のもと開催されました。

大里支部役員改選議案や令和5年度事業報告・決算及び令和6年度事業計画・予算について



支部総会

原案通り
議決されま
した。

総会終

了後は、「コ
ロナ禍の経
験を踏ま
えた健康つ
くり」と題

し、熊谷保健所保健予防推進担当 管
理栄養士木村留理様を講師に講演会を
開催しました。

2. 講演会(概要)

講演は、三つの内容で演じられました。

(1) 「コロナと健康・生活習慣の関係」
生活習慣病が新型コロナウイルス感染
症の大きな重症化リスクになったことや
コロナ禍が「リモート○○」の普及など、
生活様式・環境の変化に影響を及ぼし
た。

(2) 「大里地域の健康課題」

65歳健康寿命(65歳の者が健康で自立
した生活を送れる期間)と標準化死亡比
(年齢構成の異なる地域の死亡率を比
較するための値の一つ)により埼玉県全体
との比較で大里地域の状況の説明があ
りました。

これによると、県全体で男性18.12年、
女性21.03年に対し、熊谷市、深谷市及び



講演者▶



講演会

寄居町ともに男性も女性も県全体を下
回っており、標準化死亡比では、熊谷市は
急性心筋梗塞と虚血性心疾患が群を抜
いて高く、深谷市は脳梗塞と心不全が県
全体を上回り、寄居町は脳梗塞と糖尿
病が県全体を大きく上回っているとの説
明。この状況はコロナ禍以前も同様であ
ることからコロナ禍の影響で生じたもの
ではなく、従前からの生活習慣の中に課
題があるのではないかと説明された。

(3) 「生活習慣を振り返る」

健康長寿サポーター養成講習の内容
を取り上げ、健康づくりのヒントとして、
特定健診は毎年受診し、値の変化などの
フォローが大事である。減塩に当たっては
加工食品に含まれる食塩にも注意する
こと、健康への第1歩としていつもより10
分多く体を動かすこと(プラステン)に心
掛けることなど10項目について説明され
た。

「健康で長生きする」という切実な課
題に取り組んでいる会員にとって大変有
意義な講演となりました。

ボランティア事業部会

(1) 赤い羽根共同募金事業

熊谷駅、深谷駅ともに10月1日(火)に
行いました。

今年は、「埼玉県弘済会OSATO」

の文字を左胸に配した青色のベストを着
用して募金活動を行いました。

・熊谷駅頭ではのぼり旗やタスキ、募金箱
の組み立てなどの後、8人を各4人の2
グループに分けて、各1時間ずつ募金活
動を行いました。

・深谷駅頭
では、のぼ
り旗等準
備の後、8
人が2か
所に分かれ
て、参加し
た各ボラン
ティア団体
等の先陣を
務める形で
募金活動
を行いました。



深谷駅前

災害が続いているためか、例年以上に

多くの方々のご協力をいただきました。
特に、女子高生をはじめとする若い人達
の関心の高さが感じられました。

次の団体等との交代時に小島進深谷
市長から労いの言葉をいただき有意義な
奉仕活動となりました。

(2) 彩華園(特別養護老人ホーム)掛け
布団カバー交換事業

この事業は2人1組で掛け布団カバー

を交換する活動で、毎月第2土曜日の午
後1時30分より1時間程度で行っていま
す。

この活動に、88床分のカバーを交換す
るため、最低10人程度のボランティアが
必要です。特に8月のお盆時期は参加者
が少なく大変でした。

このボランティア事業は県の「緑寿園」
時代から長年続けられている歴史と伝統
のあるもので、県職員ボランティアの先
駆けです。昨今は、弘済会の高齢化が進
み参加していただける方が限られ、運営
が難しくなりつつあります。



彩華園(特別養護老人ホーム)

ボランティア事業に興味と関心を
持つて、ご協力いただける方は、是非中山
(090-4958-9349)までご
連絡ください。

(3) 県営熊谷スポーツ文化公園における花壇植栽管理

熊谷ドーム東側、ジョギングコース添いの花壇の中に「弘済会」の看板があります。弘済会では、春と秋に草花の植え付けや植栽管理を年間を通して行っています。

・春の植え付け

6月13日(木)に、3色の「マリーゴールド」の苗を植え付けました。

・秋の植え付け

11月14日(木)に、黄色、白、紫の「ビオラ」苗の植え付けを行いました。

県営熊谷スポーツ文化公園八景となっているこの場所は、春にはネモフィラと桜、夏はヒマワリと相まって花の見どころとなっています。散歩を楽しみむ人たちに加え、花見客や写真撮影者も多く



秋の植え付け



春の植え付け

訪れています。隣地には、すでに「ネモフィラ」が芽を出しており、今春も「桜」「ネモフィラ」「ビオラ」がコラボした素晴らしい景観が期待されます。お出かけいただいで、折々に変化するきれいな景観をご覧ください。

生涯学習部会

(1) 野菜講習会

例年野菜講習会

会は、春、秋開催していますが、夏の講習会については、樹木の手入れ等の要望も多いことから、栽培講習会として開催しました。



野菜講習会

開催日 令和6年4月4日(木)

場所 埼玉県農林公園第2研修室

参加者 21人

講師 新井守

概要

講習は、春先に播種する大根、カブ、定植するブロッコリーやキャベツ、ウエハット、レタス等の春野菜栽培のノウハウを記載した資料を配布し、特にキュウリの全般について、前回に引き続き続いて畑の準備や、五葉期までに花が咲き、咲いてから種を落とすことなどを資料により説明しまし

た。参加者全員には、「寄居在来の分け葱」やカボチャ(種と試食用の現物)、シヤコバサボテンの苗を配布しました。

・秋季栽培講習会

開催日 令和6年8月1日(木)

場所 大里農林振興センター

参加者 24人

講師 清水昇

概要

イ、用具の使い方

・脚立には四脚と三脚があり、なじみのある四脚は、柔らかい土に脚が沈み込むと不安定になり危険なので、剪定作業は三脚がのぞましい。三角形の中に自分の体重がかかるようにして、作業します。



栽培講習会

口、樹木の特性

・アカマツやシラカシなどの深根性の樹木は日照りに強く、ビワは乾燥にも強い。

ツツジやブルーベリーなどは浅根性のため、日照りに弱いので、夏の暑いときは朝夕の水くれが必要。

ハ、剪定・手入れの必要性
・剪定は、日当たりや通風がよくなり、虫が付き難くなる。

・剪定は、樹木の上から下へ行う。
・果樹は実が取りやすいように樹高を低く剪定する。

・剪定の時期は紅葉したり、葉が落ちた頃がよい。但し、梅は年明けに水を上げなくなるので12月までに剪定する。

・横に伸びた枝は残し、徒長枝は残さず切る。

・寒い時の移植は避けず。

・樹木への施肥は3月前に行う。

講演は、剪定用具や樹木の特徴など、解りやすい内容でした。

講義終了後は、「寄居在来の分け葱」、ニンニク、カボチャが配布されました。

(2) 「大里支部ゴルフ同好会」

開催日 令和6年9月17日(火)

会場 大麻生ゴルフ場

参加者 21人

概要

9月も半ば過ぎという

のに、未だ酷暑の明けきらぬ中、「大里支部ゴルフ大会」が開催されました。今回は、支部としてのコンペ



大麻生ゴルフ場

のため、会員からも募集しました。

当日は、最高気温34.7℃と予想され、92歳、87歳の高齢者も参加される中、熱中症も心配される天気でしたが、誰一人も途中リタイアすることなく、無事プレーを終えることができました。

「大里支部ゴルフ同好会」は、12月、1月、2月を除く、年8回開催しています。会員数は、34人です。年齢的には、後期高齢者が大半を占めています。

(3) グラウンド・ゴルフ大会

グラウンド・ゴルフ同好会が幹事役となり、「大里支部グラウンド・ゴルフ大会」が開催されました。

開催日 令和6年10月17日(木)

会場 妻沼運動広場緑の広場

参加者 10人

この大会は、会員の参加のもと和気あいあいの中で実施されました。

グラウン

ド・ゴルフは、1982年に国の生涯スポーツ推進事業の一つとして、鳥取県



泊村(現・湯梨浜町)の教育委員会が中心となって開発されたものです。

「いつでも」「どこでも」「だれでも」できる楽しいゲームの特性がすべて備わって

います。

同好会では、この支部大会を含め年7回程度開催しています。

(4) 楽しい歌声講座

開催日 令和6年11月15日(金)

場所 熊谷市緑化センター

参加者 15人

講師 福島房代

東京音楽大学出身「歌声ありえる」主宰 概要

参加者は昭和・平成の歌謡曲・唱歌・フォークソングなどを掲載した歌の本の中から、「秋桜」「贈る言葉」「サントワ・マミー」「おもちゃのチャチャチャ」「知床旅情」「川の流れるように」「お嫁においで」「学生時代」「北国の春」「学生街の喫茶店」「涙そうそう」「もしもピアノが弾けたなら」などをリクエストしました。

それらの中からおなじみの曲を先生の

キーボードの

演奏に合わせ歌いました。よく知っている曲もうろ覚えの曲もあります。

初めのうち

は少し小さい

声でしたが、



福島房代講師を囲んで

懐かしい曲や自分の好きな曲を歌っているとだんだん調子も出てきます。声も弾んで楽しく元気に31曲を歌うことができました。先生のトークにも興味津々で有意義な時間を過ごすことができました。来年は皆様お誘いの上、是非ともより多くの方に参加していただきたいと思えます。

施設見学・研修部会 視察旅行

実施日 令和6年11月4日(月)

参加者 24人(男15人、女9人)

概要

快晴の旅行日和。6時45分地方庁舎を出発しました。

羽生インターから首都高に入り、護国寺から山手トンネル通り、予定時間より早く8時30分に靖国神社に着きました。

靖国神社は、戊辰戦争や西南戦争などの国内の戦いで、国家のために尊い命を

捧げられた人々の御

霊を慰め、その事績

を永く後世に伝える

ことを目的に明治2

年6月に明治天皇に

よつて建てられた「招

魂社」が始まりで、明

治12年6月に「靖国神社」と改められました。現在は、246万6千余柱が祀られ



靖国神社本殿

ています。第二鳥居の前で記念写真を撮り、その後各自自由に境内を見て回りました。

そして、次の視察目的のお台場「そなエリア東京」の防災体験学習施設に向かいました。



そなエリア東京にて

※今回の視察のメインテーマは、「災害時、あなたはどうする?」です。もしここで地震がおきたら…

72時間をどう生きるか?

自治体の支援体制が整うまで3日間、

72時間と言われています。「それまで自力

でどう生きるか。」が、問われています。

ここでは、「東京直下72hTOUR」を

中心とした地震災害発生直後に於いて、

生き抜く知恵を模擬セットとタブレット

を使用し、選択問題を解いて、安全な避

難場所に辿り着くまでの体験学習やそ

のほか、防災用品や避難時の注意事項な

ど、不測の事態に対処するさまざまなこ

■支部だより

とが学べる施設で
ありました。

また、首都直下
地震発生時に緊急
災害現地対策本部
の候補地となるオ
ペレーションルーム
もあり、映画のシン
ゴジラで使用され
ていました。

昼食の後、深川
の深川不動尊に向
かいました。深川
不動尊は、徳川家
光の母の桂昌院が
成田山の不動明王を江戸に於いて参拝
したいとの希望から、お不動様の江戸開
帳を実現したもの
で、本殿中央には、
半目のお願ひ不動尊
の座像が安置され
て、大勢の参拝者で
賑わっていました。

次の、富岡八幡宮
は、深川不動尊から
歩いて5分のところ
にあります。江戸三
大祭りの一つ「深川八
幡祭り」で知られ、



不動尊像(半目)



深川不動尊



オペレーションルーム



体験学習中

勸進相撲発祥の地
で歴代横綱の名前
や横綱力士碑と大
関力士碑のほかに日
本一の黄金神輿や伊
能忠敬の像がありま
す。この日は、七五三
のお参りや西の市の準備模様でした。



富岡八幡宮

14時30分ごろに出発し、渋滞もなく地
方庁舎には、日のまだ明るい16時30分に
着きました。天気も良く、温かく絶好の
行楽日和でした。

「災害時、あなたはどのようにする？」は、考
えさせられます。

北埼玉支部

施設見学会を開催

千葉県香取・佐原を訪ねる

期日 令和5年11月2日

見学地 香取神宮、伊能忠敬旧宅、同記
念館、佐原山車会館、小野川沿い散策等
令和5年度の施設見学会は、千葉県の
北部、香取市を旅しました。参加者は15
人でした。

香取市は、利根川下流に位置し、江戸
時代には水運で栄えた商業都市で、特
に柳が垂れる小野川沿いの旧市街地は、
「重要伝統的建築物群保存地区」に指
定され、江戸末期から大正にかけて建設
された建物が多く残っていました。小江
戸と呼ばれる情緒あふれるその街並みに
魅了された旅となりました。

旅のスタートは、街のシンボルである香
取神宮から。昔は、この辺帯は広い内海
となっており、この内海が大海へ出ようと
する門戸にあったのが二つの神社、いわゆ
る北の鹿島神宮と南の香取神宮だそう
です。

神社の駐車場からバスを降り、参道商店
街に目移りさせながら50メートルほど歩
くと「香取神宮」と書かれた標柱の立つ
大鳥居がありました。さらに、参道を進
むと朱塗りの総門、そして楼門、それを
過ぎたところに黒漆塗りの拝殿が見えま
した。その美しさと見事さに驚愕し、二礼
二拍一礼で参拝し、今後の人生の幸運を
祈りました。

拝殿の奥にある本殿には、御祭神の
国家鎮護の神である経津主大神(ふし
ぬしのおおかみ)が鎮座しており、建物
は五代将軍徳川綱吉により元禄13年
(1700)に造営されたそうで、同じ13
年に造営された楼門とともに、国の重要

文化財に指定されております。

なお、楼門の掲額は東郷平八郎の筆と
ありました。また、本殿の脇に珍しい三本
に分かれた松がありました。三本松とい
うそうで、真ん中の松は空洞になっていま
した。帰りは両側に奉納石灯笼がある参
道を下り駐車場まで。

そこからバスに乗り、小野川沿いの駐
車場で下車し、まず、「伊能忠敬記念館」
を見学、記念館は、日本で最初の実測日
本地図を作成した江戸時代の測量家だ
る伊能忠敬の業績と生涯が展示され
ていました。忠敬は、50歳を過ぎてから天
文学の道を志し、71歳まで日本全国の測
量を行ったことは案内の通りでありま
す。作り上げた伊能図や実際に使用され
た測量器具なども展示されていました。
そして、小野川を挟んで向かい側にある
「伊能忠敬旧宅」を見学、醸造業を営ん
でいた店舗や書院、土蔵などが残されて
おり、これも国の史跡に指定されていま
した。その後、遊覧船を眺めながら、小野
川沿いを散策しました。

昼食は、川沿いにある古い蔵造りの「千
よ福」で名物の「小江戸弁当」を食し、そ
の後、香取市の八坂神社境内にある「水
郷佐原山車会館」を見学しました。
館内には、関東三大山車祭りに数えら
れている佐原の大祭に曳き出された実物

の山車が展示され、その高さ8メートルの山車に彫られた見事な彫り物の絢爛豪華さに思わず驚嘆するとともに、山車の最上部の大神井にある大人形に見とれてしまいました。享保3年(1733)に伊能権之丞家が引き回したのが最初だそう、国から重要無形民俗文化財として指定されていました。

見学時は、25台ある山車の内、下宿の「源頼義山車」と寺宿の「金時山姥山車」の2台が展示されていました。

佐原の大祭は7月に行われる八坂神社祇園祭(夏祭り)と10月に行われる諏訪神社祭り(秋祭り)と2回行われ、夏祭りには10台が、秋祭りに15台が町内を引き回されるということです。

帰りに利根川に面した川の駅を兼ねた「道の駅 水の郷さわら」で休憩して一路北埼玉へ帰りました。
心豊かにした楽しい一日でした。



「歌と音楽を愉しむ会」を開催

期日 令和5年12月20日

開催場所 かわさと花久の里

令和3年度は歴史講座(忍城の変遷)、4年度は健康講座(指先を使った認知症予防)と続きましたので、令和5年度は楽しく明るい講座をとの要望に応え、加須市の観光大使を担い、コンサート活動を各所で活躍している3人のプロ演奏家の方を招いて、「歌と音楽を愉しむ会」を開催しました。

出演者は、ソプラノ歌手の松永知子氏、マリンバ及びピアノの演奏の篠塚裕美子氏、そしてアイリッシュハーブ及びピアノ演奏の中里吉伽氏と多彩な顔触れでした。お忙しい方々でしたので、3人が同時に揃うのは、この日のみという日程の調整でした。

折角、本格的な演奏なので、会場も、花と音楽の殿堂を誇る「かわさと花久の里」を借用、それも多くの有名人がコンサート等を開催しているサロン、いわゆるコンサートホールを利用して開催しました。

サブタイトルも「懐かしの昭和歌謡&クリスマスソング」とし、音楽も誰でも知っている観客年齢にあった曲を選定していただきました。また、クリスマスが近いことから、クリスマスキャロルの演奏もありました。

歌や演奏を聴いたりするほか、観客たちも

一緒に歌うなど、楽しい一時でした。参加者も48人と例年ない盛況でした。

写真は、演奏して

いただいた左からハーブの中里吉伽氏、ソプラノの松永知子氏、マリンバの篠塚裕美子氏の皆様です。



令和6年度支部総会を開催

期日 令和6年5月9日(木)

開催場所 ワークヒルズ羽生

総会当日は、15人の出席会員(委任状を含めると規定の過半数を超えています)のもと、①令和5年度の事業報告及び収支決算報告、②令和6年度の事業計画及び収支予算、③その他の事業が審議され、原案通り承認されました。

赤い羽根共同募金街頭募金活動を実施

期日 令和6年10月1日(火)

実施場所 IR行田駅前

本年度も昨年度と同様、行田駅前において、行田駅のご了承のもと、赤い羽根共同募金街頭募金活動を行いました。当支部からは5人、それに行田市社会福祉協議会の職員1人を加えた6人の皆さんに参加いただきました。

午前7時に開始し、通勤通学の方々が一段落した午前8時すぎまで行いました。

集まりました募金は、即日、埼玉県共同募金会行田市支会に納入しました。

埼葛支部

河川美化活動

令和5年11月7日(火)、朝方雨がぱらぱら降る中、会員16人が参加して大落古利根川右岸(春日部市粕壁東2丁目地先)約1000メートルにおいて、柵と川面との間及び川に沿った遊歩道に捨てられたゴミを拾うなどの美化活動を実施しました。



川面には大きな鯉や鮒が悠然と泳いでいました。

新春講演会・賀詞交歓会の集い

令和6年1月16日(火)春日部市内で令和6年賀詞交歓の集いを開催しまし

■支部だより

総会の開催

5月24日(金)、岩槻駅東口コミュニティ

の講演に関連して認知症予防の話題や会員の近況などの話題で会話がはずみ、楽しいひと時を過ごしました。



第1部の新春講演会では埼玉県立大学の辻玲子准教授をお招きし、「認知症の予防と対策」と題した講演を聞かせていただきました。講演では、認知症の危険因子として、糖尿病、高血圧、肥満、運動不足、喫煙などがあること、予防には適度な運動やバランスの良い食事に心がけることなど日頃の生活習慣の重要性が指摘されました。

また、講演の最後には、体を動かしながら頭で考える課題も同時に行う「コグニサイズ」と呼ばれる運動を講師の掛け声に合わせて、参加者23人全員で行いました。質問も数多くされ、会員の関心の高さもうかがえました。

第2部の新春賀詞交歓会(懇親会)では、会員20人が参加したほか、辻准教授にも同席をしていただきました。第1部の講演に関連して

た。

赤い羽根街頭募金活動

10月1日(火)に

会員3人が参加して、春日部市社会福祉協議会その他の団体と一緒に春日部駅西口前で活動を行いました。多く

の方々に関心を持ってもらい、募金していただきました。御協力いただいた募金は、



報告されました。



センターにおいて、来賓に東部地域振興センター所長佐々木亨様の御出席をいただき、会員29人の参加のもとに開催しました。総会では「令和5年度事業報告及び収支決算について」、「令和6・7年度役員について」、「令和6年度事業計画及び収支予算について」、「宅建試験の協力機関としての弘済会状況について」を審議し、いずれも原案どおり承認されました。また、今年の宅建試験事業については、県民活動総合センターで北埼玉支部と合同で担当することが報告されました。

宅地建物取引士資格試験

即日、社会福祉法人埼玉県共同募金会春日部市支会に納入しました。

10月20日(日)実施の宅建試験では、

申込者810人の県民活動総合センターを担当し、北埼玉支部と合同で実施しました。当日は天気も比較的良く、建物内の大小18室で行い、滞りなく終了しました。

日帰りバス旅行

10月29日(火)、日帰りバス旅行を13人が参加して開催しました。曇空でしたが夕方まで天気はもとの期待で「歴史を見る」をテーマに埼玉の名所旧跡を見学しました。

まず、1400年に及ぶ歴史を誇る高麗神社を参拝しました。明るく改修され、印象が以前と違っていました。祭神は高麗王若光、猿田彦命、竹内宿禰の三神を祀っており、出世開運の御神徳でも有名な神社です。皇室の方々も多く訪れています。地域の景観は低い山と平野が美しく折りなしており、大和地方と似ています。県職員にも、関係者がおられた事も知られています。昼食は、近くのレストランサイボクでとりました。次は坂戸の五千頭の龍が登る聖天宮を見学しまし



た。成功した台湾の貿易商が、お告げにより坂戸市に巨大な道教寺院を建立したものです。何とも不思議であるが写真のとおり、1995年に開宮したきらびやかな寺院です。道教は中国台湾の宗教で、主に商売の神様です。

そして最後は、桶川市の荒川沿いにある桶川飛行学校平和祈念館を見学しました。当祈念館は昭和12年に熊谷陸軍飛行学校の分校として設置された熊谷陸軍飛行学校分教場の建物を活用し、平和を尊重する社会の実現及び地域の振興に寄与するため、令和2年に開館した施設です。戦後は市営住宅としても使われたため、建物が保存され現存しているもので貴重な建物です。歴史の重要な一断面を感じる事ができました。